第２次村上市立小・中学校望ましい教育環境整備計画方針

学校統合だより

（岩船・神林地区　Vol.４）

R8.9.1号

これまでの【Ⅲ統合推進委員会】の検討内容をお知らせします

■協議の経過

〇校歌は、神林中学校の校歌を作詞作曲した**平井李枝様**に依頼することを統合推進委員会で承認されました。小・中学生、保護者、中学校職員等から校歌に入れてほしい「言葉・フレーズ」をまとめたものと、穂波中学校教育目標をお渡しし、校歌の作詞作曲についてお願いすることになりました。

〇校章については、「穂波中学校」校章デザイン作成・募集要項が統合推進委員会で検討され、承認されました。**校章デザインを公募する**こととなりました。公募結果によるデザインは、統合推進委員会で選定し決定することとなりました。

■制服・体操着について

二校会議PTA部会で、制服は**神林中学校の現制服**を採用。体操着は**素材本体は、神林中学校のものをベースとする**と報告があり、統合推進委員会で承認されました。

※1　制服については、統合後、岩船中学校の2・3年生は、いずれかの制服を選べるものといたしました。Ohanaネットと連携し、神林中学校を卒業する生徒には制服寄付を依頼し、神林中学校の制服がストックできるようにいたしました。

※2　体操着については、統合時の中学校2・3年生は、中学校入学時、神林中学校または岩船中学校の体操着を購入し、卒業まで着用することを原則とします。ただし、買い替え時に統合中学校の体操着を購入することも妨げません。

〇第6回岩船中学校・神林中学校統合推進委員会
　令和8年3月13日（金）
（議題）
・統合中学校名の校名・校章について
・二校会議の運営部会・ＰＴＡ部会の進捗状況報告

〇第7回岩船中学校・神林中学校統合推進委員会
　令和8年6月5日（金）
（議題）
・副委員長の選任について
・統合中学校の校歌・校章について
・令和8年度二校会議の予定について
・通学方法の方針について

〇第8回岩船中学校・神林中学校統合推進委員会
　令和8年7月31日（金）
・校歌について
・校章について



統合推進委員会の様子

☆学校統合に関する情報は市公式ホームページからご確認いただけます。

村上市 学校統合　検索

(事務局・神林地区)村上市教育委員会　神林教育事務所　村上市岩船駅前６３番地(神林農村改善センター内)　TEL：0254-60-1500

≪新校名「穂波（ほなみ）中学校」に込められた想い≫

岩船中学校と神林中学校の統合により誕生する新中学校の名称は、「穂波（ほなみ）中学校」に決定いたしました。

この校名は、両地域の誇りである情景を象徴するとともに、そこで学ぶ生徒たちの未来への願いが込められています。

１．校名の由来と情景

「穂波」という言葉には、二つの地域の美しい風景が凝縮されています。

「穂」： 秋になると神林地域一面に広がる、黄金色に輝く豊かな田園の稲穂。

「波」： 夕日にきらめき、岩船の港や海岸線に打ち寄せる日本海の波。

村上市民憲章にも「稲穂わたる風」「夕日きらめく波」と綴られているように、私たちが誇りとする「ふるさとの情景」をそのまま校名に冠しました。

岩船地域と神林地域で培ってきた伝統や誇りを大切にしながら、地域を越えて一つになる新しい学校としての独自性を表現し、従来からある名称にはこだわらない校名としています。

２．生徒たちへの願い

「穂波」という名には、稲穂のようにしなやかに、そして波のようにたくましく育ってほしいという願いが込められています。

稲穂の如く実り多く： 豊かな自然と温かな地域コミュニティの中で、日々の学びを積み重ね、多様な価値観に触れながら、一人ひとりが豊かな人生の実りを結べるように。

大海原へ漕ぎ出す波のように： 刻々と変化する時代の中でも、形を変える波のように柔軟に対応し、変化を恐れず、自らの個性を発揮して力強く未来を切り拓いていけるように。

３．決定までのプロセスと児童アンケートの実施

新しい校名は地域の方々から公募により案をお寄せいただき、決定に至るまでの過程についてその透明性を担保し、学校統合推進委員会として説明責任を果たすことができるよう、何より主役である子どもたちの意思を尊重するため、新中学校校区内の児童を対象とした方向性に関するアンケートを実施いたしました。

統合推進委員会では真摯な議論を重ね、子どもたちの「自分たちの学校」に対する期待や想い、両地域の歴史と伝統を「穂」と「波」という文字に込めて受け継いでいく決意を固めました。両校が築いてきた伝統という土壌に、新たな「穂波」が立ち上がります。地域に愛され、生徒たちが誇りを持って通える学校づくりを、これからも共に進めてまいります。

［岩船中学校・神林中学校統合推進委員会］